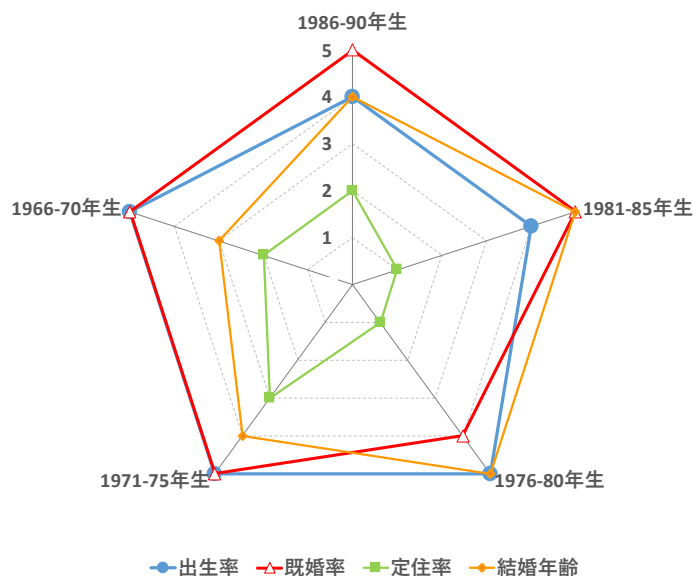


## (27) 津南町

### ①出生に関する総合評価

図27-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

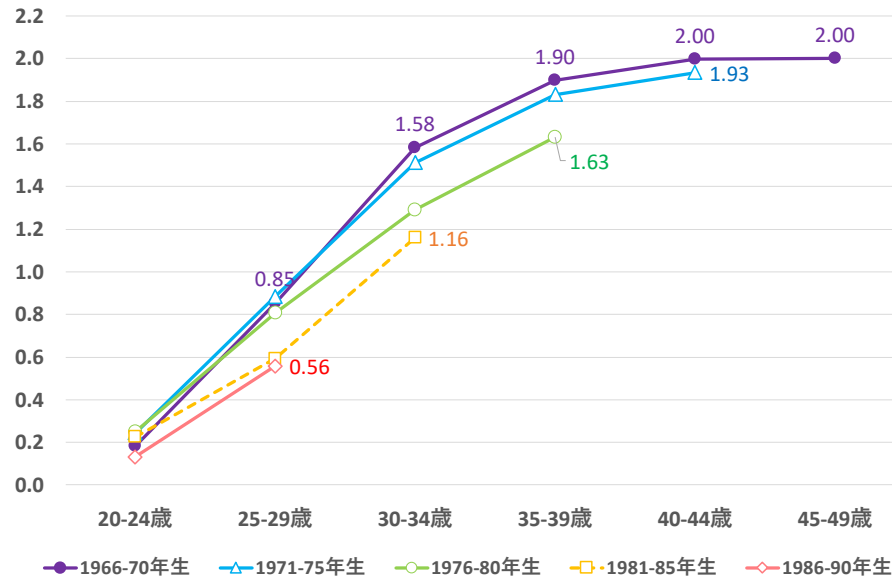
1. 合計出生率は、1966-70年生まれから1976-80年生まれまでは最上位であるが、1981-85年生まれと1986-90年生まれは上位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれから1981-85年生まれまでと1986-90年生まれは最上位であるが、1976-80年生まれは上位である。
3. 女性定住率は、1966-70年生まれと1986-90年生まれは下位、1971-75年生まれは中位、1976-80年生まれと1981-85年生まれは最下位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれは中位、1971-75年生まれと1986-90年生まれは上位、1976-80年生まれと1981-85年生まれは最上位である。

### 【総合評価】

1. 津南町は、定住率が全コホートで中位以下と低い以外は、既婚率も結婚年齢も多くが最上位である。合計出生率も1980年代生まれが上位である以外は最上位に属している。
2. 津南町の合計出生率は高水準ながらも、1970年代生まれ以前と比較した場合、1980年代生まれの25-29歳と30-34歳の合計出生率の低下は顕著である。
3. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1980年代前半生まれで1人を下回ったが、明らかに1980年代生まれの20歳代における合計出生率の低下が顕著である。今後、25-34歳の出生率が1人を回復できるかは、30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。
4. 25-29歳以降の女性定住率は1980年代生まれのコホートで0-4歳時点の50%前後であり、これが回復しなければ、人口再生産力のさらなる低下が懸念される。

## ②コホート合計出生率

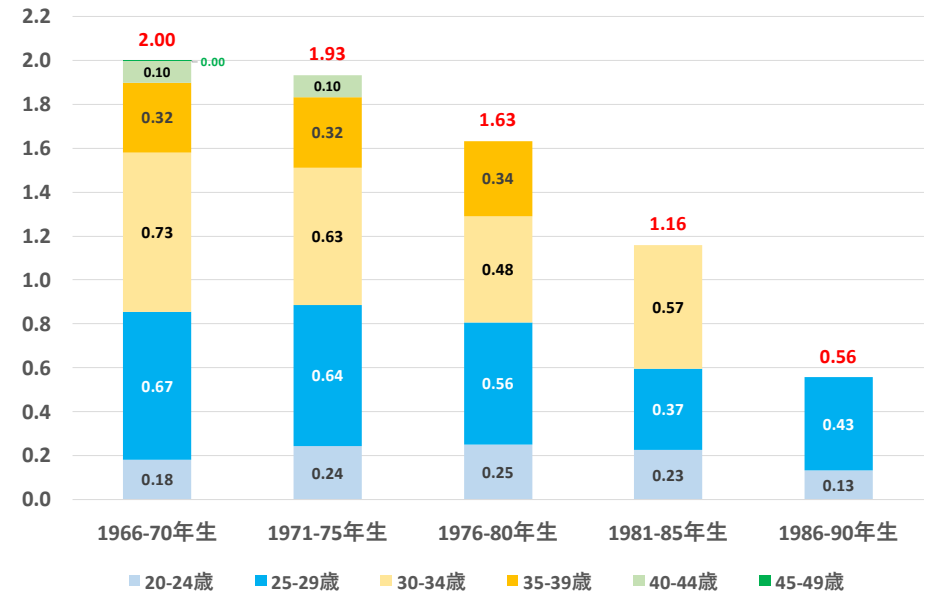
図 27-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 27-2 は、津南町のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と異なり、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれの差がごくわずかであり、これらと 1976-80 年生まれ以降のコホートとの間に 30-34 歳以降で合計出生率の大きな低下がみられる。
- ・ 1981-85 年生まれと 1986-90 年生まれのコホートは、1976-80 年生まれよりもさらに低下している。

図 27-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

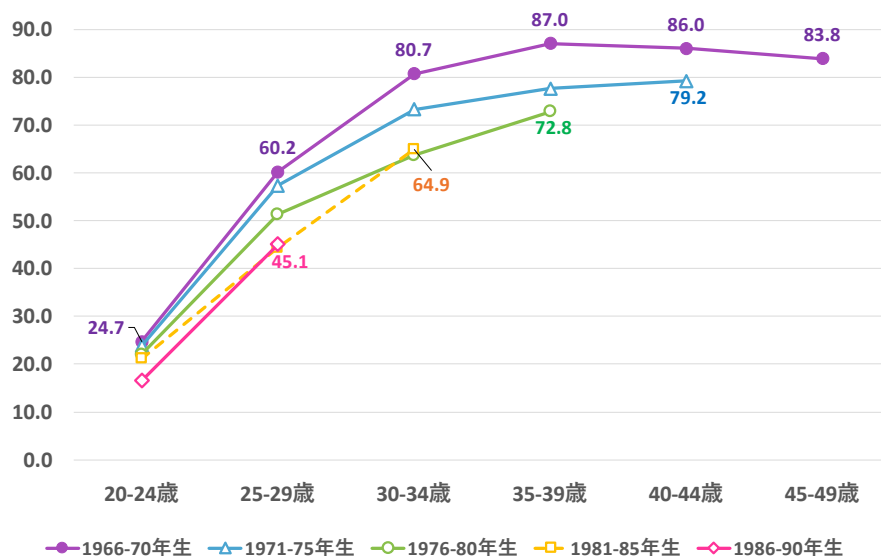


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 27-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.85 人に対して、1986-90 年生まれは 0.56 人に大きく減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 1.05 人に対して、1976-80 年生まれは 0.82 人に減少している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1971-75 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1981-85 年生まれから 1 人を下回っている。

### ③コホート別既婚率

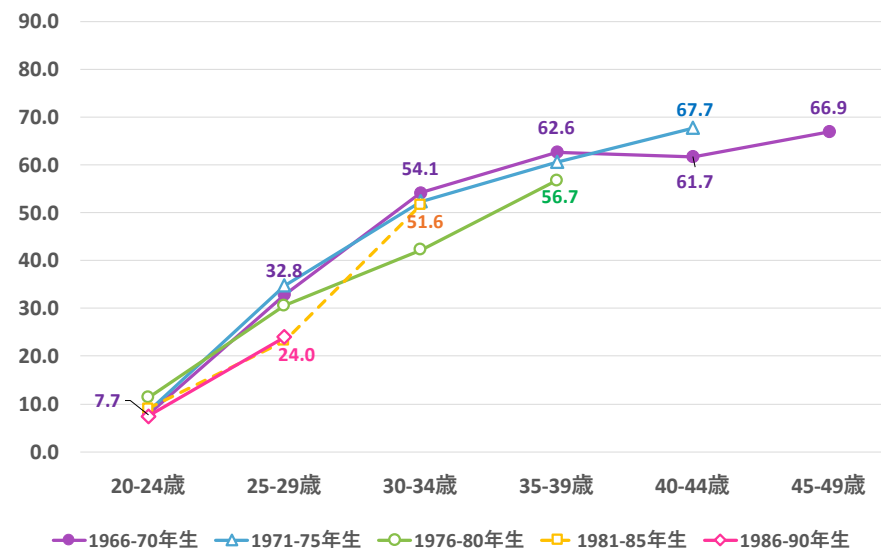
図 27-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 27-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 60.2%から 1986-90 年生まれは 45.1%へと 15.1 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 87.0%から 1976-80 年生まれは 72.8%へと 14.2 ポイント低下している。

図 27-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

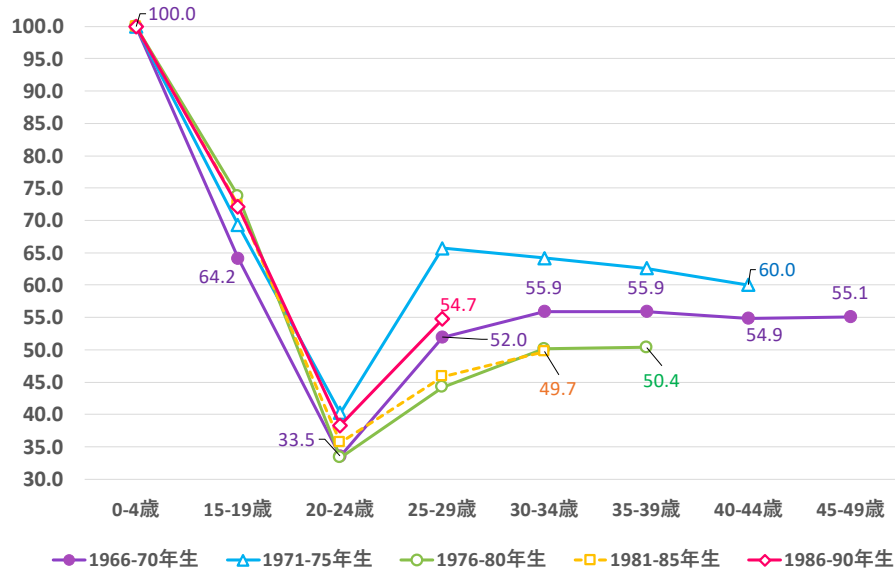


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 27-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率は 1976-80 年生まれ以降低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 32.8%から 1986-90 年生まれは 24.0%へと 8.8 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 62.6%から 1976-80 年生まれは 56.7%に 5.9 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 80%台前半に達し、県内でも高水準にある。一方、男性は 60%台後半に止まる。

④コホート別定住(残存)率

図 27-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

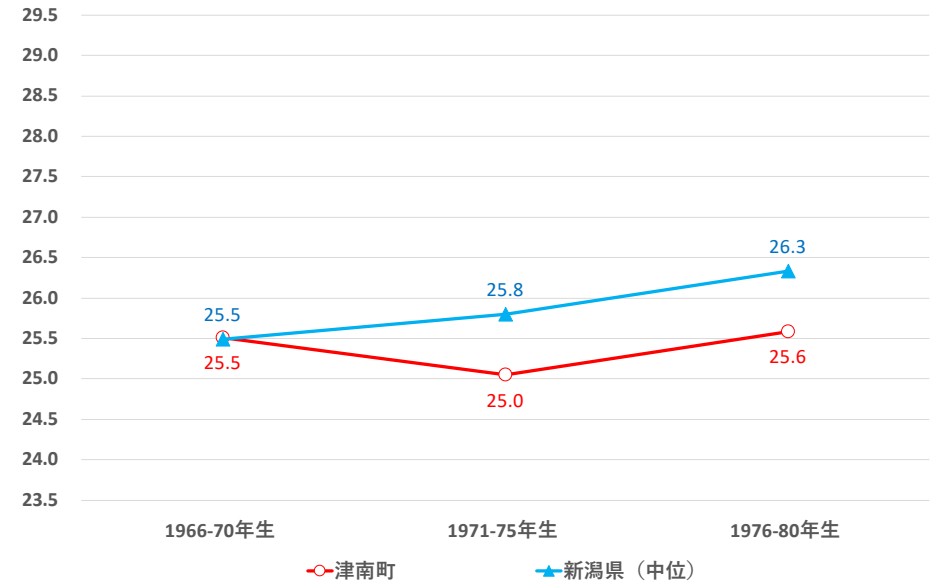


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 27-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの52.0から1986-90年生まれは54.7に2.7ポイント増加しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの55.9から1976-80年生まれは50.4に5.5ポイント減少している。
- ・ 阿賀町では、25-39歳時でみると、1976-80年生まれと1981-85年生まれは1966-70年生まれを下回り、0-4歳時点の40%後半から50%に低下している。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 27-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

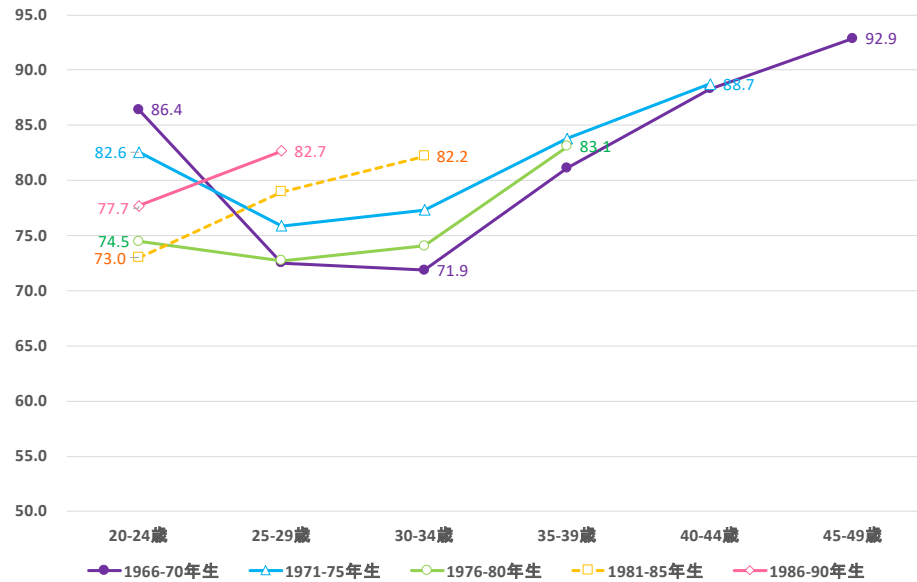


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 27-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.5歳、25.0歳、25.6歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.1歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は16位と県内平均(中位)程度だったが、1971-75年生の県内順位は5位、1976-80年生は3位と平均結婚年齢が県内で最も早い自治体の一つとなっている。

⑥コホート別女性就業率

図 27-8 コホート別女性就業率 単位：%

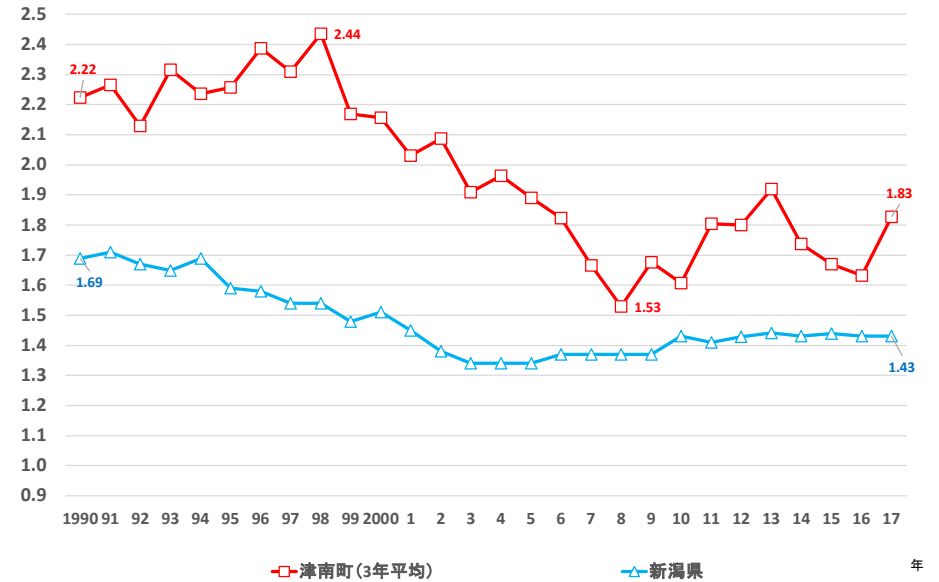


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 27-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1981-85 年生まれと 1986-90 年生まれのコホートは上昇しているのに対し、それ以前のコホートでは低下している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると、1966-70 年生まれは 71.9%であったのに対して、1981-85 年生まれは 82.2%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 25-29 歳から 30-34 歳時点での M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 27-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 27-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と津南町（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降でみると、津南町の期間合計特殊出生率は一貫して新潟県平均より高く、期間平均では 0.50 ポイント高い。
- ・ 津南町の期間合計特殊出生率は、1998 年の 2.44 をピークに低下しているが、2008 年の 1.53 を底に 2017 年には 1.83 まで改善している。